

厚生病院だより



第26号 平成18年5月20日 発行 鳥取県立厚生病院 編集 院内広報誌係

泌尿器科の充実

当院 泌尿器科は約3年間、常勤医不在のため鳥取大学より週二回の診療支援を受けて運営されてきましたが、4月1日付けで鳥取大学医学部講師の村岡邦康先生を常勤医に迎え、毎日の外来診察と手術や入院治療が可能になりました。高齢化社会となり、泌尿器科の重要性は益々高まるなか、医療の進歩は泌尿器科領域でも目覚しく、尿路結石や前立腺肥大症の治療は昔の大手術から内視鏡やカテーテルを用いた低侵襲のものへと進化しました。

村岡先生は倉吉東高校から鳥取大学医学部に進学され、平成8年に卒業後は鳥取大学病院、

公立雲南総合病院、国立浜田病院、国立米子病院など多くの病院で臨床経験を積んで来られました。最先端の知識と技術を身に付けて泌尿器科専門医として、大いに実力を發揮してもらうことになりますが、中部医療圏には泌尿器科を標榜する民間の病院や診療所が数多くあるなかで、当院は急性期医療を担当する総合病院として地域の医療機関との連携を密にしながら、地元の皆様の泌尿器科診療サポート向上に貢献してくれるものと期待しています。

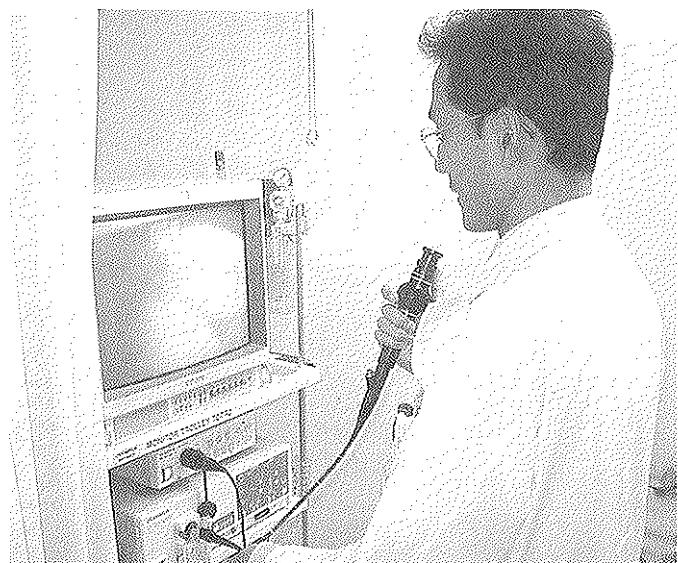
(院長 藤井 昭)

最近の医療現場から

前立腺疾患の治療の進歩

前立腺肥大症は、排尿困難、夜間頻尿、残尿感などの下部尿路症状を生じる泌尿器科領域で最も診察する機会の多い疾患のひとつです。薬物治療では α -ブロッカーを主に使用しますが、より尿道選択性を高めて低血圧を起こさせない薬物の開発が進んでいます。また、手術療法では1980年代より内視鏡手術が普及し、現在ではそれまでの開腹手術にかわり経尿道的前立腺切除術（TUR-P）がgold standardとして確固たる地位を占めています。

また、前立腺癌では、PSA（前立腺特異抗原）の普及が早期癌の発見に大きく寄与しています。治療は、経過観察、手術、放射線



治療、ホルモン療法などが挙げられ、病期だけでなくP.S.A.値と組織型また年齢により治療法の選択が変わります。手術では標準的な開腹手術や腹腔鏡手術あるいはミニマム創手術(P.L.E.S.)などがあります。また放射線治療では、近年の放射線治療技術の進歩により3次元原体照射や強度変調放射線治療などの照射法により安全に高い線量を前立腺に照射できるようになりました。また、密封された放射線同位元素を前立腺内に挿入する小線源治療も普及しつつあります。

(泌尿器科 村岡副医長)

厚生病院基本方針

患者様の権利を尊重し、地域の中核病院として、高度で安全な医療をめざします。

*救急医療・災害時医療機能を充実させます。

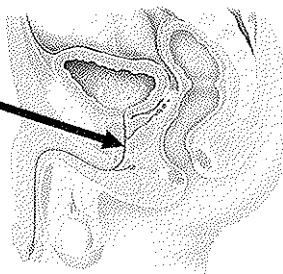
*がん診療等、高度医療への確に対応します。

*周産期医療、小児医療等の一層の充実を図ります。

*臨床研修病院として次世代を担う人材を養成します。

治療、ホルモン療法などが挙げられ、病期だけでなくP.S.A.値と組織型また年齢により治療法の選択が変わります。手術では標準的な開腹手術や腹腔鏡手術あるいはミニマム創手術(P.L.E.S.)などがあります。また放射線治療では、近年の放射線治療技術の進歩により3次元原体照射や強度変調放射線治療などの照射法により安全に高い線量を前立腺に照射できるようになりました。また、密封された放射線同位元素を前立腺内に挿入する小線源治療も普及しつつあります。

前立腺



病院改築工事状況について

当院では、平成19年5月のオープニングを目指して、中央診療棟の改築工事を行っています。(旧館の解体、駐車場の完成等は平成20年5月)

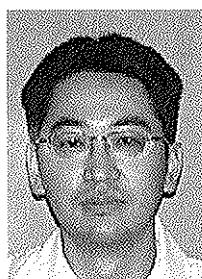
現在の状況は、建物の基礎となる箇所を建設中です。

(総務課)



外科 副医長

内田尚孝



① 内田尚孝
② 「現状維持は退歩の始まり」をモットーに努力しています。
③ 埼玉県行田市

泌尿器科 副医長

村岡邦康



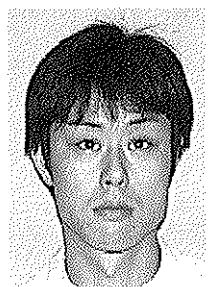
① 村岡邦康
② 患者とその家族、また医療従事者間のコミュニケーションを大切に診療していくたいと思います。

内科 医師

楠本智章



① 楠本智章
② 4月1日付けで当院内科に着任しました。卒後3年目で未熟な点も多々ございますが、一生懸命頑張ります。
③ 広島県福山市



研修医



産婦人科医師



整形外科医師

② ① 野 中 道 子
③ 島根県松江市

② ① 周 防 孝 子
③ 秋田県秋田市

③ 鳥取県米子市

② ① 野 中 道 子
③ 島根県松江市

② ① 新米ですが、一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願いします。

② ① 濱 本 佑 樹
③ 松 澤 和 彦

② ① 北 谷 新 一
③ 群馬県前橋市

② ① 松 澤 和 彦

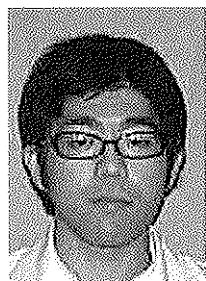


医療ソーシャルワーカー



② ① 竹 内 伸 子
③ 鳥取県倉吉市

② ① 新米ですが、一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願いします。



② ① 北 谷 新 一
③ 群馬県前橋市

② ① 松 澤 和 彦

中央放射線室年次推移(人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
一般撮影	30,068	29,053	27,744
血管撮影	505	544	621
CT検査	5,457	6,209	6,686
MR検査	1,925	1,912	2,088
RI検査	615	595	604
放射線治療	2,113	2,201	2,221
計	40,683	40,514	39,964

総人数(計)は減少しているが血管撮影を始めとする特殊部門は増大傾向である。

CT(16列) 装置更新: 平成15年12月

MR(1.5T) 装置更新: 平成17年9月